

海外安全対策情報（令和2年度第4四半期）

1 社会・治安情勢

ボツワナ政府は、9月28日、非常事態をさらに6か月（令和3年4月2日まで）延長するとしてため、令和2年度第4四半期（令和3年1月～3月）も引き続き非常事態宣言下であった。ボツワナ政府は、南アフリカで変異株が確認され、さらに年末年始の人の移動や気の緩みなどから感染拡大することを恐れ、12月24日から明年1月3日までの午後7時から午前4時までの間を外出禁止とする決定をした。同措置にもかかわらず、1月3日には、ボツワナにおいても南ア型変異株が確認されたと政府が発表し、さらに年末年始を境に感染者数は大きく増加した。1、2月の一日平均感染者数は約280名と、令和2年末ごろの120名程度から2倍以上となった。これは、一日の平均感染者数が50名程度から120名程度に跳ね上がった昨年10月頃の第1波に続く、第2波が到来したといえる。3月に入り感染はさらに拡大し一日平均感染者数は326名となった。また、1月4日時点で累計死亡者数は45名であったが、4月1日時点では568名となり、3か月間で激増した。この期間、午後8時から午前4時まで夜間外出禁止が実施された。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 正確な統計、犯罪の傾向等は発表されていない。COVID-19の影響で人の外出が減り、犯罪件数自体は減っていると考えられる。しかし、今後、困窮した者達による犯罪の増加が懸念される。

(2) 邦人被害事案

邦人の被害は確認されていない。

(3) 邦人以外の被害事案

外国人の被害は確認されていない。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ事件に相当する事案は確認されていない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人、外国人の被害は確認されていない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

対日感情は引き続き良好で、大きな変化はなく、日本企業が犯罪の標的とされ

る可能性は低いと考えられる。